

平成27年度 「大阪市統一テスト」における 大阪市立横堤中学校の結果の分析について

大阪市による「大阪市統一テスト」について、平成27年10月15日（木）に、第3学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

1 テストの目的

- ① テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成28年度入学者大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- ② 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

2 テストの対象

- ・ 原則として、大阪市立中学校及び特別支援学校中学部の第3学年

3 テストの内容

- ・ 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科

平成27年度「大阪市統一テスト」検証シート

学校名	大阪市立横堤中学校
-----	-----------

生徒数(人)	126
--------	-----

平均正答率(点)

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	68.0	62.7	64.6	57.6	68.2
大阪市	64.7	57.4	59.3	55.6	59.8

結果の概要

平均正答率では、大阪市平均より国語で3.3ポイント、社会で5.3ポイント、数学で5.3ポイント、理科で2.0ポイント、英語で8.4ポイント上回る結果となった。得点分布をみると、平均正答率30%未満の生徒の割合が大阪市平均より国語で2.9ポイント、社会で3.9ポイント、数学で8.1ポイント、英語で4.4ポイント下回る結果となっている。しかし、理科で2.8ポイント上回る結果となった。観点別正答率では、知識・理解の項目で大阪市平均より国語で4.1ポイント、社会で4.7ポイント、数学で4.8ポイント、理科で3.2ポイント、英語で7.3ポイント上回り、全体で4.8ポイント上回る結果となった。

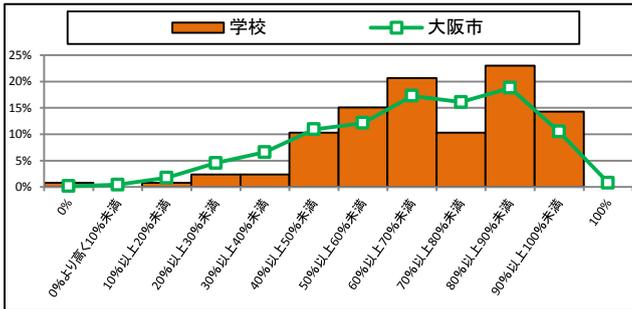
成果と今後取り組むべき課題

個々の生徒の課題やつまずきを把握し確かな学力を身につけるため、全教員による研究授業の実施など授業改善に努め、組織的に学力の向上に努めている。今後、学校教育ICT活用事業により導入されるタブレットなどを活用した授業実践を積極的に行い、生徒の学習に対する意欲・関心をさらに高め、わかる授業を展開していく。また、言語力や思考力、表現力、判断力の育成を図るために、授業の中で生徒自らが話し合い、意見を出し合う場面を多く取り入れた指導法を工夫していく。

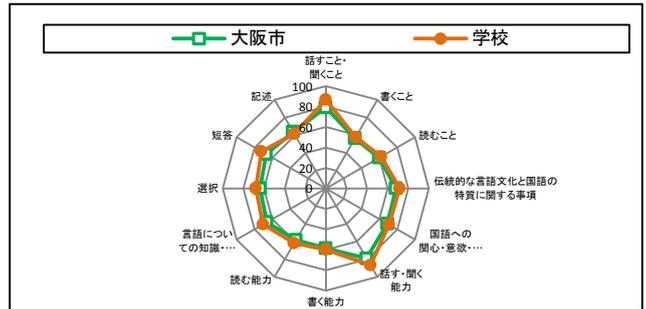
【各教科の得点分布と領域・観点・問題形式別平均得点の分布】

【国語】

【得点分布】

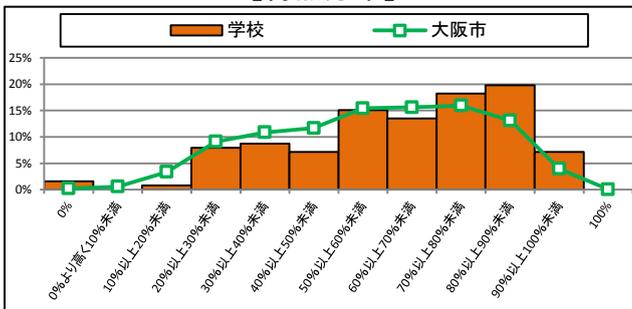


【領域・観点・問題別の分布】

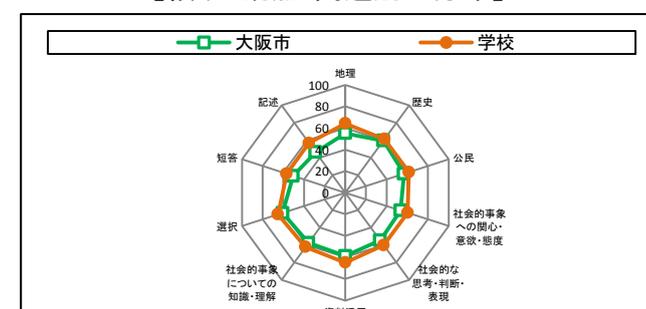


【社会】

【得点分布】

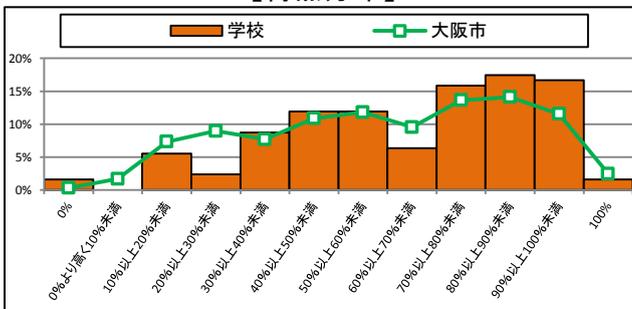


【領域・観点・問題別の分布】

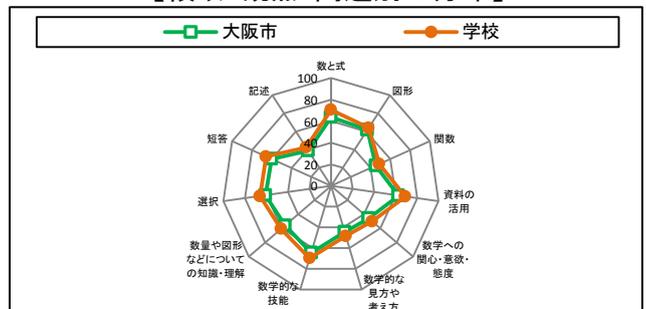


【数学】

【得点分布】

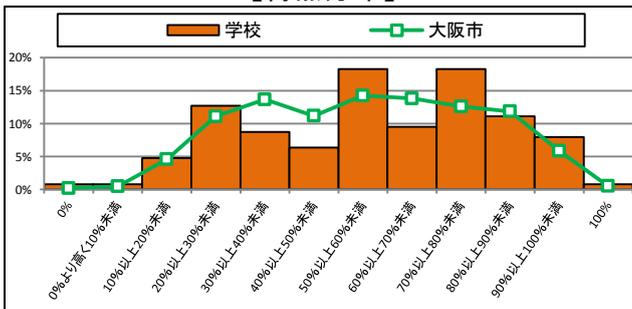


【領域・観点・問題別の分布】

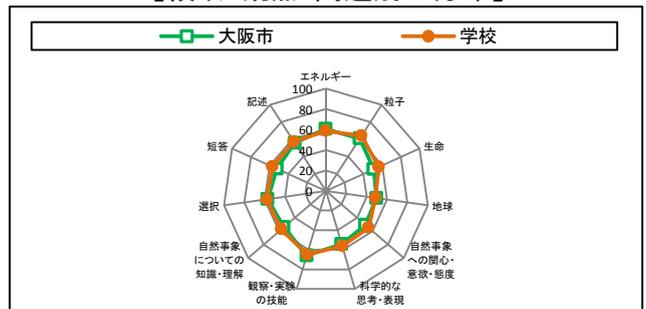


【理科】

【得点分布】

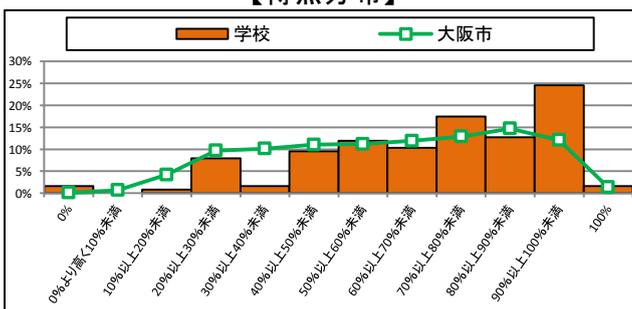


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

